

8月号

ひかりっこ

平成30年8月1日
御町光の子保育園

8月の行事予定

- 4日(土) お父さんDay
- 8日(水) 鶴ヶ丘幼稚園職員 見学
- 26日(日) 菅生山仕事

9月の行事予定

- 4日(火) 総合訓練(消火・避難訓練)
- 9日(日) 菅生山仕事
- 19日(水) 5歳児懇談会
- 20日(木) ●4歳児懇談会
●東北福祉大学3年生
ながしま はるかさん実習
(9月14日まで)
- 29日(土) 親子レクレーション

～親子レクレーションは保護者参加の行事となります。～

普段子ども達はそれぞれの発達の中でのびのびと体を動かして活動しています。

寝返り、はいはい、歩く、くぐる、走る、跳ねる、登る、降りる、投げる、音に合わせてリズムカルに体を動かす、運動遊具(ボール・縄跳び等)を自分の思うように扱う…等、頭と体を使って日々発達をくり返しています。

光の子保育園の親子レクレーションは、このような発達を楽しく表現しながら、親子で触れ合うことを楽しむ一日となっています。

詳細は後日おたよりを配布いたしますのでご覧ください。

お盆期間、連休に入るご家庭も多いかと思います。連休中はご家族で楽しい時間を過ごせると良いですね。連休明けはたくさん遊んだ疲れが出やすくなります。どうぞ連休最終日はゆっくりと過ごし、大人も子どもも翌日からのお仕事&保育園生活に備えましょう！

====ご確認ください====

- お子さんの爪は伸びていませんか？伸びた爪で肌を掻きむしってとびひになったり、友だち同士の関わりの中で、傷がついてしまうことがあります。爪は常に短く清潔にしておきましょう。
- ロッカーに季節に合っていない洋服が入っていませんか？長袖や厚手のズボンが入ったままになっていたら、Tシャツや薄手のズボンに替えましょう。

～学生の実習、ボランティア、他園からの保育園見学が入ります～

将来、保育士を目指している大学生が実習、また園見学を兼ねてボランティアに入ります。

さらに他園からの園見学を受け入れ交流することで、御町光の子保育園の保育を見直すきっかけともなっています。

見学者が多くなりますがご理解の程、よろしくお願ひします。

高温続きの7月、外で遊ぶ子ども達に水を配り、渡された自分のコップで水を飲む0, 1, 2歳児。時間において又水を配る保育士、熱中症予防です。年上の子ども達の給水もタンクの水がすぐになくなり何回も浄水が運ばれています。プールが始まると歓声を上げ楽しんでます。

暑い日が続きますが、外遊びが大好きな子どもたちで、朝、遊び仲間が登園すると、砂場のダンプやトラックの玩具を両手で押してガラガラと音を出し走り回る4歳児から1歳児、その様子を見ている歩き始めたびよびよの子は「おもしろそう」と見ているのでしょうか。「遊び」は年上の子から年下の子へと伝承されていきます。

朝8時、れんがクラスの大生くんと天駆くんは「こま場の準備するよ！手伝って！」と周りに声をかけながらこま場の太い綱を引っ張っています。4歳になった二人は5回連続でこまを廻して『マイごま』を得ています。年長児のお兄ちゃんに負けじと頑張ったのでしょうか。準備ができると「じゅみよっこ、じゅみよっこ、じゅみよっこ、ほい！」と呪文(?)を唱え、紐を巻いたこまを投げるのです。周りで見ているのはげんきっこさんときらきらさん…遊びは伝承されますね。

お兄さん達はベーゴマに夢中です。午前も午後も夕方も仲間が集まって競っています。小さいベーゴマを細い紐で巻くのは難しそうですが、器用に巻いて成功させています。好きな遊びを心ゆくまでして満足すると穏やかな気持ちになりますね。年下の子に教えている様子、優しさが見えます。

「遊び」の環境は、縁側にも、室内にも、園庭にも用意されています。登園後、親からなかなか離れられない子も仲間に「遊ぼう」と誘われて遊び出します。今夏の暑さの中でも遊びを楽しんでいるのです。——突然、蝉の鳴き声！柳の木！「ほら、あそこ」と指をさして見つけ、あっという間に飛び立ちました。8月も暑さが続くのでしょうか。「早寝・早起き・朝ごはん」が熱中症を予防してくれます。

～副園長 千葉靖子～

夏の感染症に気をつけましょう！！

☆ヘルパンギーナ…高熱が出て、喉が痛み喉の奥に水泡ができます。喉の痛みから飲食が辛くなるのが特徴です。

【登園の目安】解熱後1日以上経過し、普段の食事ができるようになってからとなります。

☆アデノウイルス感染症…高熱、眼の充血や目やに、喉の腫れや痛みが見られます。

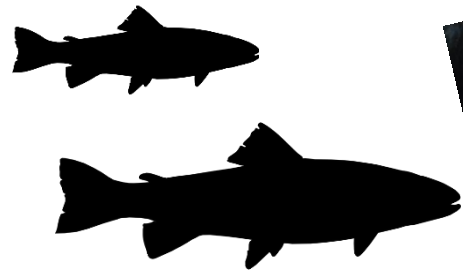
【登園の目安】発熱や眼の充血がなくなってから2日を経過してからとなります。

☆手足口病…手のひら、足、口腔内に水泡が出来る。熱は軽度。

【登園の目安】熱がなく、普段の食事が出来るようになってからとなります。

感染症を防ぐ為には、普段からの食事・体を動かし夏バテしない強い体を作るよう心がけることが、一番の予防です。冷房のつけすぎや、寝冷えなどにも注意したいですね。

普段と違う様子があれば、登園時に保育士へお知らせ下さいね。また、夏風邪は急に発熱する場合があります。いつでも連絡が取れるよう、普段と連絡先が違う場合は保育士へお知らせ下さい。



子ども達のプールが
終わったら…
ちょっとおじゃま
します～
ハア～きもちいい～



夏のあそび
真っ盛りです！！

